

うみのまち「明石」・やまのまち「養父」

# 交流協定を結び

# 「まち」の活性化を

このたび、かねてより調整を進めていた明石市との交流協定が  
まとなり、5月15日に実施した養父市誕生1周年記念式典の中で  
調印式が行われました。  
今後、さまざまな面で連携を図り、市民のみなさんを中心とし  
た交流事業を実施していきます。

# 市交流協定調印



交流協定書に調印し、固い握手を交わす梅谷馨・養父市長（左）と北口寛人・明石市長

## 交流協定の経緯と目的

このたびの交流協定は、以前から交流があつた初代養父市長の故佐々木憲二氏と北口寛人・明石市長が発案。協定調印に向けて、昨年度から調整を進めていたものです。

この協定の目的は、お互いの地理的特徴を表す「つみのまち・明石」と「やまのまち・養父」をキーワードに、お互いの地域特性を生かした市民参加型の事業連携を通じて、お互いのまちの良さを再発見し、まちの活性化を図るために調印されたものです。

## 固い握手を交わし交流がスタート

八鹿文化会館ホールに集まった市民のみなさんが見守る中、梅谷馨・養父市長と北口寛人・明石市長が壇上に入り交流協定書に署名。協定書を掲げ固い握手を交わしました。

交流協定の締結にあたって梅谷養父市長は「つみのまち明石とやまのまち養父の交流を深め、お互いの発展に努めます」、北口明石市長は「佐々木憲二前市長の思いを継いで、お互いの魅力



明石のダンシングチーム「KIRARA」による華麗な踊り

を一層みがき、この交流を实らせます」とあいさつしました。  
その後、明石市のダンシングチーム「KIRARA」のみなさんによる華麗な踊りで、協定調印に花を添えていただきました。

今年度、実施予定の主な交流事業は次のとおりです。  
▼明石市が実施する「親子ふれあいクルージング」に養父市内の親子40人を招待（7月18日予定）▼明石市の親子40人を招待し、大屋農村公園で農作物の収穫などを体験（9月～10月）▼明石市内の保育所に養父市から雪のプレゼント（12月～来年3月）▼養父市内で明石市の名物「いかなご釘煮」の料理教室を実施（来年3月予定）